

日吉台新聞

HIYOSHIDAI
平成29年10月1日

発行

日吉台学区自治連合会
日吉台学区まちづくり協議会
発行責任者 林 堅太郎
編集責任者 村澤 真保呂

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

空き家見守り活動開始へ

所有者と合意、対策へ一歩踏み出す

日吉台学区自治連合会は、同連合会特別委員会「空き家対策検討委員会」の協議報告に基づき、10月を目処に学区内で「空き家見守り活動」を始めることになった。9月の学区自治連合会、検討委の見守り活動実施計画案が了承され、昨年以來検討していた空き家対策の一つが具体化、実施されることになった。

大津市は、日吉台学区を空き家対策のモデル地区に指定、学区内に増え

空き家対策推進室と学区空き家対策検討委は、日吉台にある空き家の実態調査を実施、約1600戸の住宅のうち、100戸が空き家とみられる。市と学区自治連は、これら空き家について今後の扱いを検討するため、空き家所有者と意向調査などを通じ連絡を取り合ったところ、地元で管理を希望する所有者がいることが判明。接触を続けた結果、このほど学区との連絡を希望している所有者4人うち、最初のケースとして4西地区の空き家所有者1人と学区が見守りすることで合意、学区自治連との間で、契約を交わし実施することになった。

状態の確認が必要で、契約締結のさい、学区自治連会長が指定する調査員が敷地内に入り、空き家の現状確認調査を行うことになる。確認調査には、調査員と分かるベスト腕章を着用、空き家の隣、後方住宅に調査に入ることを通報することになっている。

湖西道路

4車線化に対応、特別委設置

騒音、振動対策など協議

学区自治連合会は、9月16日の学区自治連定例会で、湖西道路4車線化に伴う騒音、振動問題について沿線住民として対策を検討する学区自治連特別委員会「湖西道路4車線化騒音、振動対策検討委員会」(仮称)の設置を決めた。

同道路4車線化工事は、2回目の国体が開催される平成36年度完成をめざしすでに着工。完成すると現在の通行車両が倍増1日4万8000台の交通量が見込まれる。交通量増加に伴い車の通過騒音被害や大型車の段差でのバウンドによる振動被害が増加することも予想される。

このため、学区自治連では6月から7月にかけて国交省滋賀国道事務所の担当者と呼んで通過交通倍増による騒音、振動対策の説明を求めたところ沿線の4東地区では、高さ3メートルの遮音壁の設置を明らかにしたが、1南地区では既存の遮音壁と道路切土と盛り土で騒音が軽減され遮音壁工事は行われないことがわかった。

滋賀国道事務所が示した騒音数値は、予測数値。振動対策についても具体策を明らかにせず、説明会に出席した住民側から

学区個人情報保護方針策定

情報管理をさらに徹底

改正保護法施行で

学区自治連合会は、平成27年9月改正、本年5月施行された個人情報保護法に基づき、学区個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定めた。9月開催の学区自治連定例会で提案、決定したもので、連合自治会規約に基づき諸手続きを経て施行する。

従来から個人情報については、適切に管理、慎重な取り扱いをしてきたが今後は法の対象になることから個人情報保護方針(プライバシーポリシー)でルールを定めることにした。

学区自治連の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)では、自治連合会で取り扱う個人情報の取得、利用、提供、廃棄等の管理を適正に行うことを基本方針に、利用

目的として適用される情報の種類や範囲を明記、会員らの同意なく情報の収集、目的外の利用を禁じている。

また、方針では第三者への情報提供の取り扱い、保有個人情報の開示請求手続きについても詳細に規定した。学区自治連では、プライバシーポリシーの文言を精査のうえ、成案を10月開催の学区自治連定例会に示し、施行する。

全国レベルか、超える成績

日吉台小6年生児童

文部科学省が今春国語と算数の2教科で行った全国学力・学習状況調査結果がこのほどまとまり、発表された。

日吉台小の子どもたちは、国語、算数ともほぼ全国レベルかレベルを超えている学力を有していることがわかった。

学力調査は、文部科学省が小学校では全国の小

文科省の学力テスト結果

一部に課題も

学6年生を対象に4月18日に実施。国語と算数の知識を問う問題、算数の知識を活用する問題では課題が見られた。例えば、「場に応じた言葉遣い」、「スピーチするさいのメモの利点」

「場に合った適切な言葉遣いで考えを話す」設問など、項目によって正答率が低かったことである。

同小では、この結果をふまえて、対話的な学び、場に合った言葉遣い、表現の仕方や伝える力を育てる指導の進め方研修を進め、子どもの学力向上につなげたい、としている。

改正前の個人情報保護法では、5000人以下の個人情報を取り扱う事業者は法の対象外だったが、改正後はすべての事業者に適用される。この事業者には、自治会や同窓会などの非営利組織も該当する。学区自治連で

個人情報保護法では、個人情報を集めるときには、利用目的をあらかじめ定め、本人に利用目的を明示する。保管するさいには、情報漏えい防止に適切な措置を講ずるよう求めているほか、第三者に提供するときなどのルールも定めている。

やめよう 路上駐車



駐車場の確保が、消防活動の妨げになります。公道に駐車は、交通安全の妨げになります。

日吉台学区 自治連合会

原稿掲載希望の方は編集部に連絡をお願いします。

日吉台新聞編集部

福祉まつり 健康やかに

長寿祝い敬老のつどいも

にぎわうお楽しみ広場



敬老月間中の9月10日、日吉台学区社会福祉協議会主催の第13回「福祉まつり」敬老のつどい」が日吉台市民センターで開かれた。参加したお年寄りたちは、式典のあと繰り広げられたアトラクションやゲームなどがあるお楽しみ広場、模擬店など行事を満喫、楽しいひとときを過ごしていた。

長寿を祝う式典「敬老のつどい」には、学区在住の75歳以上の在住者681人のうち107人が出席。参加者中最高齢99歳になる1丁目在住の達脇勉さんも元気な姿を

見せていた。開成式で呉屋之保・学区社会福祉協議会会長が「みなさんご長寿おめでとうございます。健康寿命をのびし長寿のまち日吉台をみんなでつくってゆこう」とあいさつ、来賓として出席した越直美・大津市長が「滋賀県は健康長寿日本一だ。この敬老の集いを機にますますお元気で長生きをしてください」と激励

励、お祝いの言葉を述べた。写真。

このあと今年米寿を迎えた24人のうち式典に出席していた11人にお祝いの記念品が贈られた。

米寿の記念品を贈られる敬老のつどい参加者(左下は、にぎわうお楽しみ広場)

と激

統廃合の支所名を検討

市方針説明

大津市が進める市民センターのあり方検討の支所業務について、田中鉄也自治協働課長は9月4日の市自治連合会定例会で、「支所統廃合で廃止される支所業務の市民への影響、廃止した場合の代替サービスの方法、廃止する支所名などを現在庁内で検討している。検討案であり、まとまり次

各学区で反対の声相次ぐ

第、市自治連合会のみならずにお示しし、協議をはじめたい」と支所統廃合について庁内作業進行状況を明らかにした。これに対し、会合に出席していた各学区代表の学区自治連合会長から「住民票などをコンビニなどで取得できる」とあるが、コンビニがない学区がある。公共交通機関がない

学区があり、残される隣接の支所へでかけられない老人がいる」「廃止する支所の数を減らす案はないのか。従来どおりの機能を残せ」など反対意見が相次いだ。

田中課長は「検討案は案の案である。案を示したあと話し合い、協議をしたい」としたうえで、「市民センターには、公

定例会に同席した井上佳子市民部長は「税金が減るうえ扶助費は年々増加する。市財政が破綻しないために大きな決断をしないでほしい」と支所集約化に理解を求めた。市自治連の谷正男会長は「この問題で学区自治連ではみな同じ意見だろう。市自治連でこの問題を検討させていただけよう」と議論を引き取った。



学区民大運動会開催

10月8日、日吉台小グラウンドで

日吉台学区自治連合会(野々口義信会長)主催の「2017年度第33回日吉台学区民大運動会」は10月8日(雨天の場合

は9日)、日吉台小学校グラウンドで開かれる。運動会開催にあたって学区自治連では、学区体育振興会(上嶋徳久会長

と協議しながら例年と同様、学区内の各種団体の協力を得て実行委を組織し、運動会を重ねてきた。運動会は、午前9時に

21・思いやり涼み処好評

各家庭の省エネに貢献



21丁目北自治会などが、7月21日から9月10日までの毎週金曜日と日曜日の10時午後4時、自宅を出て涼しく語り合いたせんか、と冷房の効いた2丁目北集会所を「思いやり涼み処」として開放期間中、涼しそうなデザ



開成式があり、来賓、役員、選手集合のあと開会宣言。前年度男女混合リレー優勝の1丁目南と2丁目南両自治会代表による炬火入場、点火があり、前年度総合優勝チーム4丁目東代表選手が選手宣誓を行う。

競技プログラムは、玉入れ、幼児走、5分間持久走、ジャンボボール運び、おもしろリレー、買物競争など例年と競技

種目は変わっていない。運動会の華、男女混合リレーで競技の最後を締めくくる。

競技後、幸運の抽選会が行われるが、この抽選会に不在の人は当選無効となるので注意。雨天延期、中止の判断は、9日午前5時半までに学区自治連会長、体育振興会長が協議し判断、連絡網で伝え、学区自治連ホームページでも紹介する。

インの簾が玄関にかけられた会場には、おやつやお弁当、飲み物を持参した住民らが、グループでおしゃべりしたり読書や手芸など、おもしろい自分の時間を楽しんでいた。写真。

主催者側では、来場者に「思いやり涼み処」に滞在中、自宅のエアコンやその他使用中の電源を切ってきたかについてアンケートを実施、延べ13日間の開設期間中の来場者の人数、滞在時間などから省エネの効果を試算したところ、参加者家庭の消費電力量は約410kWhアワー削減、二酸化炭素削減効果は約204kgに達した。主催者は、今夏の実績を参考に来年はもっと多くの人に参加してもらいたい、と意気込んでいる。